



日本医療機能評価機構

より高度な整形外科医療を志すために



たかおか 整志会

TAKAOKA SEISHIKAI

| 広 | 報 | 誌 |

2022
秋号

No.66



みくりが池 アニメ映画の舞台にもなった澄んだ湖面が美しい「みくりが池」は室堂のシンボルです。湖面にくっきりと映った山々が四季の移り変わりを存分に感じさせてくれます。もうすぐ紅葉によって色とりどりに彩られる様をぜひ見に出かけてみてはどうでしょう。絶景に感動すること間違いなしですね。

撮影者：栄養管理科 小野 悦子

CONTENTS もくじ

- 2 巻頭言 田中整形外科部長
- 3 新人職員紹介
- 4 診療トピックス
原因不明の慢性の痛み 畠山手術部長
- 6 整志会トピックス
第33回万葉集全20巻朗唱の会
- 7 高岡市の夏の風物詩

高岡整志会病院 基本理念

- 1.市民の健康・医療・福祉の向上を目指し、明るい豊かな生活の実現に貢献します。
- 2.職員が生き生きとして豊かにその使命を発揮する場を作り、患者さんが迅速に社会復帰できるように努めます。
- 3.整形外科専門病院として、すべての患者さんの尊厳と権利を尊重し、最先端の技術で患者さん中心の治療を実践します。



日本医療機能評価機構認定病院

巻 | 頭 | 言

The greeting of the beginning of a book



伝統を絶やさぬように

整形外科部長 田中 利弘

新型コロナウイルス感染症第7波が、日々過去最大の1日感染者数を更新しながら猛威を振るう中、“行動制限のない夏休み”をキャッチフレーズに、今年は各地で3年ぶりに伝統行事や祭事、イベントが開催された。夏祭りの定番である花火大会や夏のスポーツの風物詩である全国高校野球甲子園大会も有観客で開催され、久しぶりの伝統的な賑わいを取り戻した夏となった。

伝統の継承といえば、長い歴史を通じて培われ、受け継がれてきた祭事、芸能、習慣、芸術などを次代に継承していくことであるが、医療において次世代に継承する習慣といえば、知識や技術・手技を後進に指導、教育するというのがそれに相当するのではないであろうか。いくら成書を読んでも、実際に患者さんを診療したり手術したりするには上級医のサポートは不可欠であり、成書には記載されていないような経験的な知識やコツというのは直接指導される以外経験できない。新型コロナの影響とは無関係ではあるが、当院でも2年ぶりに脊椎外科医を志す新進気鋭の若手研修医が赴任し、高齢化が進み士気が失われそうになった当院指導医陣にも徐々に活気を取り戻した夏となった。診療や手術の合間に研修医と雑談も交えてアドバイスする様子を俯瞰した時、自分も多くの指導医から学んだ記憶がいまだに診療の礎になっているとつくづく感じる。特に初めて経験することを初めて教わった時の指導医の教えは今でも鮮明に記憶していることが多く、その教えが今、20数年の時を経て後輩に受け継がれているのだと感慨深い気持ちになる。

自分が現在まで脊椎外科を専門としてやってきた過程で特に記憶に残る二人の指導医の先生がいる。一人目は学位取得後の市民病院勤務時代の指導医の先生で、緊急手術をたくさん経験させていただいた。急患センターを要するその病院は、外傷、メタ（転移性脊椎腫瘍）、感染が多く、夜間休日を問わず脊椎除圧固定術や洗浄デブリードマンなどとにかく臨時手術が多かった。しかし先生は何一つ不平を言わず(?)、むしろ臨時手術を楽しむかのような不敵な笑みを浮かべて手術に没頭する姿が印象的であった。また先生は臨床も研究もモチベーションが非常に高く、手術はきわめて冷静で安全性重視、研究では持続的に学会発表を行い探求心を高めることを指導され、脊椎外科医として高い誇りを持ち、その楽しさを教えていただいた。二人目の指導医の先生からは、脊椎手術の基本手技や合併症の対処法などを教わった。変性疾患患者の多いその病院は、県内外からの紹介患者が多く、その分難易度の高い症例が非常に多かった。患者個々の病態の多様性を詳細に分析し、同じ疾患でも個々の病態に応じて緻密に治療方針を計画し、多種多様な術式を経験させていただいた。また難易度の高い症例が多い分、合併症を起こさないための手技の工夫や実際に起こった時の対処法など、一人前の脊椎外科医になるために避けては通れない貴重な経験を指導していただいた。その際よく言われたのは、できることなら先輩の失敗を見て聞いて学び、自分自身は経験しないように努めるのが患者さんのためだということだった。先生は合併症の起こった患者さんこそ何度も病室に足を運んで患者さんと会話し真摯に対応するよう指導して下さった。先生自らもそのように対応することで、期待通りの改善が得られない患者さんでも、最後には感謝の言葉で退院する姿を目の当たりにした光景が今でも鮮明に残っている。

そして現在、指導医として後進の育成に携わる立場となっても尚、手術で難局に直面した際に頭をよぎるのはかつての指導医の先生方の教えである。あの時の言葉を反芻しながら止まった手を進めることで局面を開き救われることがある。自分が初めて指導していただいた時の記憶を甦らせながら、この教えが少しでも後進の今後の経験の礎となるよう、一生根付いても恥じないような記憶として残るメッセージを伝えていきたいと思う。人々の心に根付いた伝統文化を後世に伝承していくように、医療においては先人の知恵や経験を後進に伝授して同じ過ちを繰り返さないように努める義務がある。かつて先輩方が流した冷や汗や涙が染み込んだ経験は、どんな優れた成書の知識より貴重な財産である。幸いにして、当院には脊椎外科の川岸院長、人工膝関節の金粕先生、手の外科の中原先生、麻酔科の佐藤根先生というまだまだ現役のレジェンドが存在する。このレジェンド達の貴重な技術と経験がより多くの同門の後進に伝授されることを願ってやまない。

新人職員紹介



副本部長
釣井 光一

このたびご縁を頂き、9月よりお世話になります。これまで営業や企画業務などに従事していましたが、医療機関での勤務は初めてとなります。新たに始まる仕事を前にワクワクとドキドキの中にありますが、日々の学びを重ね、地域医療の責務を担う一員となれるよう努めてまいります。皆様からのご指導も合わせどうぞよろしくお願い致します。



看護師
津里 智子

6月から外来で勤務しています。看護師経験は長いですが、整形外科専門病院での勤務は初めてです。疼痛のある方や外傷、手術を受ける方など様々な場面に、整形外科の特殊性と難しさを感じています。一日でも早く外来チームの一員として戦力になれるようチームワークを大切に、また、患者さんに信頼され、安心安全な看護を提供できるよう自己研鑽してまいりますので、よろしくお願い致します。



薬剤事務
藤井 佳奈枝

5月より入職させて頂いております。病院での薬剤事務は初めてで、至らない点多々あると思いますが、一日でも早く貢献できるように一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



勤続20年・10年表彰

看護師長 川原 由起

勤続20年を迎えるにあたり、院長をはじめ職員の皆さんに支えられて、ここまで勤められた事に感謝いたします。ライフステージの育児期と子供の成長期では、先輩看護師の皆さんに助けて頂きながら、何とか家庭と仕事を両立することが出来ました。子育て後になった今後は、若いスタッフを支えて、整志会病院のチームの和を保ち、患者さんに満足して頂ける医療の提供を目指したいと思います。



左から 京角 久美子 高畑 奈美子 川岸 院長 川原 由起



後列左から 黒木 小百合 蛸野 久代 藤田 絵里子 伊藤 順子
越前 裕夫 米林 建治
前列左から 立石 雄太郎 高橋 寛 川岸 院長 川原 由紀子

学 術 活 動

◆第12回最小侵襲脊椎治療学会

2022年6月23日～25日 富山国際会議場

「第5腰椎分離すべり症に対しておこなった片側TLIF例の短期経過」

○澤田利匡、田中利弘、川岸利光

◆日本ペインクリニック学会 第56回学術集会（ハイブリッド開催）

2022年7月7日～9日 東京国際フォーラム

「線維筋痛症患者に対するトラマドール塩酸塩・アセトアミノフェン配合錠の検討」

○神谷和男（web参加）

原因不明の慢性の痛み



手術部長 富士 登

体に何らかの痛みが生ずると、通常は安静にして痛みが治まるのを待つか、市販の薬剤を使って痛みを和らげるかという行動を取り、それでも痛みが続く場合に病院を受診し、検査により原因を見つけて治療をすることになります。しかし、さまざまな検査を駆使しても原因がはっきりせず、また治療のための薬剤も効果が見られなければ、長期間の痛みで悩まされるとともに、“なんでこんなに痛みが続くのだろうか？”とか“自分は一体どうなってしまうのだろうか？”といった心配や不安が出てくる場合があります。

慢性痛は痛みの原因となる病気がない、あるいは手術などの治療により原因が解消されているにもかかわらず長期間（3ヶ月以上）痛みが続いている状態とされます。慢性痛は専門用語では痛覚変調性疼痛とも言われ、さまざまな痛みを契機とした場合も含め、中枢（主に脳）で発生する感作、可塑的变化により発生すると説明されます。とても難しいように聞こえますが、梅干しの写真を見て酸っぱくもないのに唾液が出てくる現象のようなものと言えれば解りやすいかも知れません。

慢性痛の特徴としては、痛みの性質としてズキンズキンと言うよりは電気が走ったようなビリビリした痛みや火傷のときのヒリヒリした痛みのことが多いようです。また、痛みの場所や強さが日によって変わる、天候により痛みの強さが変わる、疲れやストレスにより痛みが強くなることが挙げられます。また逆に、趣味など楽しいことに集中している間は痛みを感じなかったり、痛みがあっても一旦寝てしまうと起床時まで痛みのため目が覚めることがないこともあります。

また慢性痛が悪化する原因の一つに“痛みの悪循環”の形成があります。図に示すように、痛みが長引くと少しでも動かない方が楽と考えてしまいます（不動）。

そうすると、全身の筋肉や関節はだんだんと弱くなってきます（廃用）。すると、今度はまた少し動いただけでも痛みを感じるようになり、さらに動かなくなってしまいます。このように悪い方向への循環を形成してしまい、不安や心配から睡眠不足、また怒りやイライラなどを引き起こし、生活の質が悪化してしまいます。



慢性痛の治療でまず大切なのは、原因となっている病気、進行性の病気、生命に影響を及ぼす病気がないことをしっかりと検査することです。もし、ここで何か原因が見つかれば専門的な治療へとつなげていきます。そして何も原因がなければ、現在痛みがあっても、生命に直接影響しないという安心感へとつなげることが大切です。それから“痛みの悪循環”を断ち切ることを目的に治療を行います。いくつかの治療法の中で大きな割合を占めるのが運動療法・リハビリテーションになります。運動療法の目的は「痛みがあっても動かせる体を作る」ことであり、決して運動することで痛みを軽減することではありません。自分で動いて日常生活ができ、自分に自信が持てるようになることで痛みを楽観視できるようになることが目的です。また、必要に応じて不安・心配やイライラを和らげるお薬やさまざまな鎮痛薬も使って治療していきます。

当院では毎週火曜日午後に予約制で“慢性の痛み外来”を開設しています。
慢性痛でお悩みの方はご相談頂ければと思います。

第42回高岡万葉まつり「第33回万葉集全20巻朗唱の会」

大伴家持ゆかりの地・高岡の夏のビッグイベント「万葉集全20巻朗唱の会」も第33回を迎え、当院から今年も動画で参加することになりました。今年には神谷和男麻酔科・痛み緩和診療部長、澤田利匡診療部長、小山一茂整形外科医師、奥野清孝理学療法士、摺出奈々看護師、伏間江由莉亜看護師の6名が参加しました。万葉衣装を身に着け朗唱し、素敵な声を響かせました。

【朗唱歌：二四五五番～二四六六番】

*動画は高岡ケーブルネットワーク9チャンネルで10月7日（金）～9日（日）に放映、また高岡万葉まつりのYouTubeチャンネルは10月7日（金）から公開されます。



消防訓練

令和4年8月5日(金) <防災管理委員会>

当院では毎年2回の消防訓練を実施しています。今年度1回目は、前年度まで行ってきた訓練とは違う方法で自主訓練を行いました。今年度は、あらかじめ決まったシナリオ等は作成せず、その場の状況に合わせて各自が行動出来るかという点を重視して行いました。初めての試みでしたが、訓練参加者は、指揮係、初期消火、消防署通報、院内放送、避難誘導など各自の役割をしっかりと果たしていました。しかし、火災ベルが鳴っている際には声が聞こえにくいという意見があり、大きな声で避難誘導を行う重要性を感じました。今後も訓練を重ね、的確、迅速に行動できるように努めていきたいと思ひます。



第16回BLS講習会（一次救命処置）

地域医療福祉連携室 堺 美桜

BLS講習会では、傷病者の発見、意識の確認、応援要請、胸骨圧迫、AEDの使用方法などを実践しました。プールで倒れた時は水を拭き取ってから電極パッドを装着する、駐車場で倒れた時は車が来ていないか安全確認をするなど、事例ごとの注意すべき点を学ぶことができました。また、胸骨圧迫では、約5cm沈むまで圧迫するために、肘を伸ばして、手の付け根のみを胸骨の下半分に置いて、手のひらは浮かせるようなイメージで行いたいです。BLSが必要な場面に遭遇した時、率先して実践できるよう、必要な技術を身体で覚えることが大切だと思ひました。いつでもどこでだれが危険な状態に陥るか分からないため、職種に関係なく患者さんを救えるように努めることが重要であると感じました。当院では、いつ・どこで心室細動が発生しても、救命ができるように、病棟ではナースステーション、外来では待合室のエレベーター横にAEDを設置しています。



院長より修了証の授与

ホームページ やすらぎコーナーより

高岡市の夏の風物詩

国宝 瑞龍寺 夏 夜の祈りと大福市

高岡市の国宝瑞龍寺を舞台にした夜のライトアップ「夏 夜の祈りと大福市」は、2日間限定で3年ぶりの開催となりました。山門や仏殿が色とりどりの光で照らされ、幻想的な空間が広がり、多くの来場者を魅了しました。山門には金剛力士像あり、山門に向かって右の口を開けたのが阿形（あぎょう）像、左の口を閉じたのが吽形（うんぎょう）像です。また、トイレの神様と言われる烏瑟沙摩明王（うすさまみょうおう）に、無病息災、合格祈願、恋愛成就、子孫繁栄などを祈ります。門前では、飲食店を中心とした店が出店する大福市も開催されました。



撮影者:看護師 南 仁美

七夕飾り

富山県高岡市では七夕まつりを旧暦に沿って8月7日に行っています。当院でも7月21日～8月6日の間、玄関やデイルームなど合計5か所に七夕飾りを飾りました。

短冊に書かれた願い事には…

「早く体を治して娘と歩けますように」
「家族が健康でいられますように」「スタッフ全員に感謝、ありがとう」「心穏やかに」と病院らしい願い事が多い中、「野球がうまくなってセンバツでレギュラーになりたい」「欲しい車が手に入りますように」など、それぞれの願いのこもった短冊が飾られていました。

どうか皆さまの願いが叶いますように。



当院ホームページのやすらぎコーナーでは、県内のイベントなどを掲載しています。ぜひご覧ください。



地域における「かかりつけ医」から整形外科専門病院として、

■患者さんの権利

1. プライバシーと尊厳が守られ、差別なく公平な医療を受けることができます。
2. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で決めることができます。

～個人情報保護法について～

当院では、個人情報保護管理委員会を設置し、患者さんの個人情報保護に全力で取り組んでいます。ご意見、ご質問は総合受付へお気軽にご相談下さい。

■ 外来診療担当医師のお知らせ

2022年5月1日より

		月	火	水	木	金	土
午前	整形外科	8:00~12:00				8:30~12:00	7:30~12:00
		川岸	川岸	田中 金粕	川岸	澤田 小山	川岸 (第1・2・3・5土曜日) 金粕 (奇数月 第4土曜日) 田中 (偶数月 第4土曜日)
	関節外科	9:30~12:00			第2・4 木曜日 8:00~9:20 中野(予約制)		
	整形外科一般	瀨川			9:30~12:00 瀨川	第1・3 金曜日 9:30~12:00 瀨川(予約制)	
	側弯外来						第2 土曜日 9:00~11:00 関
痛み緩和 診療外来					第2・4 金曜日 9:00~11:40 神谷(予約制)		
午後	整形外科	2:00~6:00	2:00~6:00	1:30~2:00	2:00~6:00	休診	
		田中	澤田	澤田(予約制)	金粕		
	2:00~6:00		2:00~6:00	2:00~6:00			
	金粕		澤田	田中			
	股関節外来			2:00~5:00 高橋(予約制あり)			
	慢性の 痛み外来		2:00~6:00 畠山(予約制)				
痛み緩和 診療外来			第1・2・4・5 水曜日 3:00~5:00 神谷(予約制)	2:00~6:00 神谷(予約制)			
発熱外来	1:00~2:00 川岸利臣(予約制)						

※中原医師の診察は、しばらくの間休診となります。

- 午後の診察の受付は午前より行っています。
 - 午前(月~木)の診察は、手術により12時以降は他の医師の診察となる場合がありますのでご了承ください。
 - 担当医師が学会等で不在や診療時間が急に変更になる場合がございますので、事前にお問い合わせください。
- ホームページにもご案内しております。 **電話によるお問い合わせ 月~木 9:00~17:00、金・土 9:00~12:00**

病院周辺図



- ◆ あいの風とやま鉄道で高岡駅下車
古城公園口(北口)より約700m 徒歩約8分
- ◆ 北陸新幹線で新高岡駅下車
新高岡駅より約3km タクシーで約10分

※新高岡駅~高岡駅間は、
城端線で約5分、バスで約15分

〒933-0039 富山県高岡市大手町 8-31
TEL (0766) 22-2468
FAX (0766) 26-7948

編集後記

残暑も和らぎ過ぎやすい季節になりました。皆さん、体調にはくれぐれも気をつけましょう。また、一日も早いコロナの終息を願っております。(T&T)

ホームページに
アクセスできます

